

KPIとアウトカム

グランドビジョン(2020~2029)	地域・産学官連携ポリシー
①ジェンダー平等の実現に貢献できる女性を育成します ②教育、研究の両面において、SDG sの達成に貢献します ③多様な学生が集まり、多様な価値観の中で、生涯学び続けることのできる大学を目指します ④世界の大学と連携して、人類に資する研究を推進します ⑤時代の変化に合わせて新たな価値を創造する大学を目指します	https://www.kyoto-wu.ac.jp/shakai/sangaku/policy.html

地域連携研究センター

事業部門

リカレント事業	戦略目標	地域・産学官連携事業
・平日通学コース運営 ・文科省補助事リカレント（マネジメントコース、DX人材入門コース） ・女性のためのリカレント教育推進事業イベント ・データベースを蓄積し、研究につなげる（➡ジェンダー研究所との協働）	・社会課題解決の手段として「リカレント事業」「地域・産学官連携事業」を位置づけ、社会から注目されることで、京女のプレゼンスを向上させる。 【リカレント】（全体戦略は別紙） 外的リソース（補助金）を最大限に活用し、中長期的なリカレントを構築するためのパイロットスタディとして、①女性管理職を増やす為のリカレント（マネジメントコース）と②DX人材の母数を増やすためのリカレントのコースを実施し、検証する。 【地域・産学連携事業】 連携プロジェクトを通じて、学生主体の産学連携をPRし、京女のプレゼンスに寄与する。	・地域連携講座運営（学部正規プログラム） ・公開講座 ・生涯学習講座 ・各種地域産学官連携事業 ・連携プロジェクト ・他大学との連携事業（大妻女子大学等） ・国際女性デーシンポジウム ・地域産学連携活動

4つの視点

視点	リカレント事業・KPI（重要評価指標）/アウトカム	アクションプラン	地域・産学連携事業 KPI（重要評価指標）/アウトカム
財務の視点	【KPI】・文科省補助金をとる（2022年度2種類） ・平日通学コース最低集客数目標 13人/年 【アウトカム】 ・パブリシティ 1件/年(広報効果 100万円)	【リカレント】 ・企業の課題および社会的課題を解決するためのリカレント（①マネジメントコース②DX人材育成入門コース）を補助金を活用して創設する。（パイロット・スタディとして実施する位置づけである。） 【地域・産学官連携事業】 市民の教養を高めることを目的とした講座の実施	【KPI】・生涯学習講座 売上 100,000円/年 【アウトカム】 ・リピーター 3人

視点	リカレント事業・KPI（重要評価指標）/アウトカム	アクションプラン	地域・産学連携事業 KPI（重要評価指標）/アウトカム
顧客の視点	【KPI】・ズーム相談 50件/年 ・池上彰によるリカレント説明会集客 100人 ・女性のためのリカレント教育推進事業イベント 120人/年 ・リカレントプログラム満足度80%以上 ・リカレントプログラム有用性80%以上 ・リカレント修了生就職率60%以上 ・ビジネス展示会（リカレント部門）に出展 1回/年 ・出張講演会参加 2回/年 【アウトカム】・リカレント生の受講後の意識の変容（キャリアへの積極性） 80%以上 ・企業・団体の本学への連携の希望（連携・活動したい） 70%以上	【リカレント】 ・リカレント受講広報手段として、説明会とズーム相談を活用する。 ・公共機関（大阪ハローワーク、コンソーシアム京都、京都府クリエイティブセンター）からの招聘講演を受け入れ、リカレントの広報手段として積極的に活用。 ・池上彰氏を客員教授として招聘。 ・女性のためのリカレント教育推進協議会の幹事校となるため、2回シンポジウムイベントを開催し、リカレントの水平的拡張に寄与する。 【地域・産学官連携事業】 ・コロナの状況を見ながら無理のない運営を行う。	【KPI】 ・連携プロジェクト発表会 1回/年 ・公開講座開催数 5回/年 ・生涯学習講座開催回数 5回/年 ・学部連携講座受講者のべ人数 100人/年 【アウトカム】 ・生涯学習講座受講後の満足度 80%

視点	リカレント事業・KPI（重要評価指標）/アウトカム	アクションプラン	地域・産学連携事業 KPI（重要評価指標）/アウトカム
業務プロセスの視点	【KPI】・コーディネーターミーティングの開催 1回/週 ・全体会議（センター長含む）開催 1回/月 ・補助金リカレント実行委員会（実施委員会 4回/年 ・リカレント評価委員会 2回/年 ・教員審査 2回/年 【アウトカム】・リカレント評価	【リカレント】 ・リカレントコーディネーターのジョブディスクリプション（職務記述書）の更新 ・リカレント実行委員会開催頻度の見直しによるスリム化（コストカット＆スクラップ） ・地域連携研究センター運営委員会頻度の見直しによるスリム化（コストカット＆スクラップ） <u>※会議は最も重いコストである（時給×人数×時間）。必要なもの（情報共有によるベクトル統一）以外は、できるだけ減らすべき。</u> ・産学官連携機関構成員によるラウンドテーブルを対面で実施し、本学の教育プログラムおよび産学官連携に関する意見を徴収する。 【地域・産学官連携事業】 ・ラウンドテーブルについては可能な限り対面で実施し、参加機関の本学へのコミットメントを向上させる。	・地域連携研究センター運営委員会 2回/年 ・ラウンドテーブル 1回/年

視点	リカレント事業・KPI（重要評価指標）/アウトカム	アクションプラン	地域・産学連携事業 KPI（重要評価指標）/アウトカム
学習と成長の視点	【KPI】・キャリアコンサルタント有資格者数 2人以上 ・エビデンス 分析による振り返り ・リカレントについての報告発表（学会） 1回/年 ・寄稿論文書籍出版 1冊（3月~4月） 【アウトカム】・業務を通じてのstaffの成長実感 「昨年度よりも成長したと感じる」 80%	【リカレント】 事業をアンケート分析結果などのエビデンスベースで振り返ることにより、次年度のリカレントへ反映させる。（PDCAサイクルをまわす） 研究においては、新たに設立されるジェンダー研究所と協働する。 【地域・産学官連携事業】 アニュアルレポート執筆を通して事業の振り返りと次年度への反映を促す。（PDCAサイクルをまわす）	【KPI】・アニュアルレポート報告 1冊/年 【アウトカム】・業務を通じてのstaffの成長実感 「昨年度よりも成長したと感じる」 80%